

平成25年度における温室効果ガス等の排出の削減に

配慮した契約の締結実績の概要

平成26年8月4日

国立大学法人長崎大学

国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(平成19年法律第56号。以下「環境配慮契約法」という。)第8条第1項の規定に基づき、平成25年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要を取りまとめたので、公表する。

1.平成25年度の取組み

環境配慮契約法及び国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針(平成22年2月5日閣議決定。以下「基本方針」という。)に基づき、可能なものから、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約(以下「環境配慮契約」という。)の締結に努めた。

2.環境配慮契約の締結状況

平成25年度においては、以下の契約を締結した。

[建築物設計]

(坂本1)総合研究棟(熱帯医学・国際保健等)新営等設計業務、(坂本1)総合研究棟(熱帯医学・国際保健等)新営等設備設計業務、(坂本1)総合研究棟(旧原研施設2号館)改修設計業務、(坂本1)総合研究棟(旧原研施設2号館)改修設備設計業務、(坂本1)図書館医学分館改修等設計業務、(坂本1)図書館医学分館改修等設備設計業務、(多比良町)総合研究棟(環東シナ海海洋環境資源研究センター)新営設計業務(建築・設備)、(文教町1)附属中学校武道場新営等設計業務(建築・設備)、(片淵)学生支援センター(福利厚生施設)改修設計業務(建築・設備)、(坂本2)総合研究棟(旧歯学部本館)改修設計業務、(坂本2)総合研究棟(旧歯学部本館)改修設備設計業務、(文教町2)総合体育館改修設計業務(建築・設備)、(片淵)体育館改修設計業務(建築・設備)の13件について、温室効果ガス等の排出の削減に配慮する内容を含む技術提案を求め、総合的に勘案してもっとも優れた技術提案を行った者を特定する環境配慮型プロポーザル方式を採用した。

[自動車の購入]

(経済学部)普通乗用自動車(プラグインハイブリッド車)1台、(環東シナ海環境資源研究センター)小型貨物自動車(クリーンディーゼル車)1台の購入について、総合評価落札方式を採用した。

[産業廃棄物処理に係る契約]

(全学)非感染性産業廃棄物収集運搬・処理業務の入札に際し、裾切り方式を採用した。

3.その他の環境配慮契約に係る事項

環境物品等の調達等の推進等に関する法律に基づき、環境物品等の調達の推進を図るための方針を定め、長崎大学ホームページで公表している。

引き続き平成26年度以降に公告を行う建築物の建築又は大規模な改修にかかる設計業務のうち、設計上の工夫により特に温室効果ガス等の削減の排出抑制に効果が大きいと判断される業務については、原則、環境配慮型プロポーザル方式の対象とすることとした。